

福島小だより

学校通信



めざす児童像：考える子 やさしい子 元気な子
第8号 令和6年11月1日

甘楽町立福島小学校
校長 新井 綱人

秋の気配を色濃く感じられる季節になりました。運動会や陸上教室記録会を終え、校内絵画展に向けての作品作り、日本絵本賞ポップ交流サイトへの投稿を含めた様々な読書活動、バス旅行や宿泊体験学習など、秋にふさわしい行事が学校では続いています。



そして11月は、人権について考え行動する「なかよし旬間」や持久走の取り組みがあります。持久走については、これまでの全員が同じ距離を走る方法を改め、学習指導要領で示されている一定の時間内にどれだけ走ることができるとかを自己評価する方法に変えて実施します。一人一人が自分のめあてをもち、進んで持久走に取り組めるよう、支援していきたいと思います。

○運動会 ～スローガン「みんなで作る絆と感動！」～

当日の天候が心配されましたが、運動するには絶好の陽気の中、運動会を開催することができました。今年は、団選抜リレーや綱引きを盛り込んだり、低学年児童が応援のうちわを作って配付したり、団の名前を児童が考えたりと新しい試みを加えながら、これまで以上に児童主体の運動会となることを目指しました。

他学年の応援をする児童や、高学年の表現を一緒に踊る中学年の児童の様子が見られ、スローガンのとおり、絆と感動を作れた運動会になったように思います。

団対抗戦の結果は、288対264点で赤団「レッド・スター・ブレイズ」が白団「ホワイト・ウイング」に勝利しました。たくさんの方のご来場・ご声援ありがとうございました。



↑開会式



↑甘楽町音頭



↑団選抜リレー



↑綱引き

○茶道教室

昨年に引き続き、福島地区在住の茶道裏千家篠原社中の皆さんにご協力をいただき、6年生を対象に茶道教室を行いました。

茶道の歴史や茶を飲む際の作法を教えていただき、お菓子とお茶を楽しみ、その後、自分たちでお茶を点てる体験もしました。

お菓子やお茶をいただく際には、何人も人の手を通してお菓子やお茶が作られ、今、自分が口にできることに感謝の気持ちを含めることや、お辞儀の仕方には、「草（そう）」「行（ぎょう）」「真（しん）」の3種類があり、卒業式には「真」のお辞儀ができるとよいことなどのお話もしていただきました。

この教室はコロナ禍でしばらく実施できませんでしたが、昨年度から再開しています。

6年生にとっては、日本文化に触れて礼儀作法を学ぶ貴重な体験となりました。

